

平成（ ）年度〔 〕小学校

## チャレンジクラブ実施マニュアル

### チャレンジクラブ参加者

	担 当	担 当 者 名	備 考
授	チャレンジクラブ授業者		
コ	特別支援教育コーディネーター		
通	通常学級担任		
特	特別支援学級担任		
管	管理職		
支	特別支援学校教員		
学	学生支援員		

# 目 次

チャレンジクラブの目的	2
-------------	---

チャレンジクラブのスケジュール	3
-----------------	---

## 案 内

1. モデル児童推薦についての学級担任依頼文書	9
-------------------------	---

## 年間計画作成のための資料

1. チャレンジアンケート	10
---------------	----

## 授業を実施, 改善するためのシート

1. 授業改善シート	13
------------	----

## 記録と評価のためのシート

1. 記録シート	14
2. チャレンジクラブ自己評価用アンケート	15

## 校外の専門家と連携するためのシート

1. 児童の基礎情報シート	17
---------------	----

チャレンジクラブ実施における改善例	18
-------------------	----

## 参考資料

1. 授業改善シート記入例（良い姿勢で座る, 先生を見る）	21
2. 良い姿勢で座るの指導方法	23
3. 学習・活動チャレンジ教材	24
4. チャレンジクラブ説明用資料	25
5. 個人懇談案内文書	27

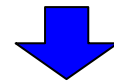
## チャレンジクラブの目的

褒められることの少ない気になる子どもたちが  
成功体験を積み自信をつけること

### 気になる児童の共通した問題

- ・ 成功体験が少ない
- ・ 褒めてもらえる機会が少ない。
- ・ 問題行動を起こして叱られる機会が多い。

自尊感情 DOWN



### チャレンジクラブの役割

チャレンジクラブ

- ・ 望ましい行動が起きる環境を探す場である。
- ・ 望ましい行動を練習する。
- ・ 成功体験を積んで自信をつける。
- ・ 児童を賞賛し、自尊心を高める。

環境を再現

自尊感情 UP



### 通常学級の役割

通常学級

- ・ 練習の成果を発揮する。
- ・ 先生に褒めてもらって自尊心を高める。
- ・ 成功体験を積んで自信をつける。

# チャレンジクラブのスケジュール

目安となる時期	内 容	担 当 者
～4月2日	<div>1. マニュアルを読む</div> <p>○スタッフ全員に実施マニュアルを配付し、一読するよう促す。 ○職員会議の機会にチャレンジクラブの目的や活動内容について説明し、周知を行う。</p>	コ
家庭訪問開始までに	<div>2. 対象児童とモデル児童の最終決定</div> <p>○対象児童の担任に入部の決定を口頭で伝える。 (対象児童は、前年度に決定済み) → 【P7 新年度入部児童を決定するを参考】</p> <p>○対象児童の担任に、担任への依頼文書【P9】を手渡し、あらかじめモデル児童を複数あげてもらう。 ○次の条件に合うモデル児童を担任に推薦してもらう。 1. 対象児童と同じクラスでモデル的な行動がとれる。 2. 行動面や学力面に大きな困難がない。 3. クラブ希望アンケートでチャレンジクラブが真ん中より上である。</p> <p>○担任からあがってきたモデル児童候補者の中からモデル児童を決定する。</p> <p>*モデル児童が多い場合： 対象児童1名につき、モデル児童1名の原則を守る。児童数が多くなると細やかな支援ができなくなる可能性が高まるため。</p>	授, 通
～4月中旬	<div>3. マニュアルの内容と役割の確認</div> <p>○第1回全体打合せ チャレンジクラブ実施マニュアル案にそって、役割を確認する。 参加者：全員</p>	コ
～5月 第2火曜日	<div>4. チャレンジクラブの指導目標を決める</div> <p>(1) 児童の希望を把握するためにアンケートを実施する。 ○チャレンジアンケート【P10】を準備する。</p>	授
5月 第3水曜日	<p>○第1回チャレンジクラブの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己紹介、部長・副部長（副部長は複数いてもOK）の選出を行う。</li> <li>・チャレンジアンケートを実施する。</li> </ul>	授
5月の中旬までに	<p>(2) 通常学級での現状を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学級担任から指導目標とする行動について、現状の聞き取りを行う。</li> </ul>	授

	<p>(3)指導目標を決定する</p> <p>児童の目標と担任のニーズに合う行動で次の基準に合うものを目標とする。 →指導目標の基準</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 授業参加のための基礎的な行動</li> <li>2. 対象児童以外の児童もできていない行動</li> <li>3. 増やすことが目的となる行動</li> </ol> <p>指導目標例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 良い姿勢で座る</li> <li><input type="checkbox"/> 先生が話している時は先生を見る</li> <li><input type="checkbox"/> 担任からの指示に従う</li> <li><input type="checkbox"/> 挙手をして発言をする</li> <li><input type="checkbox"/> 自分の席で学習する。</li> <li><input type="checkbox"/> 授業に必要な文具の準備をする。</li> </ul> <p>*指導目標が決まらない場合は、専門機関に相談する。専門機関への相談依頼先一覧はP8に掲載。相談時に必要な児童の基礎情報シートは【P17】を参照。</p>	授、コ、通
5月中	<p>○年間実施計画案作成</p> <p>アンケートをもとに年間計画表を完成させる。</p>	授
5月から6月	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>5. 授業改善シートを作成する</b></p> </div> <p>○第2回クラブ</p> <p>授業者で次のことを話し合い、授業改善シート【P13】に記入する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 学習チャレンジ内容と配慮事項を話し合い、決定する。</li> <li>2. 活動チャレンジ内容と配慮事項を話し合い、決定する。</li> </ol> <p>*指導目標決定後、最初のクラブでは目標提示のみを実施する。</p>	授
5月から6月のチャレンジクラブ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>6. 指導前の記録をとる</b></p> </div> <p>○特に行動練習などは行わず、指導目標が通常の指示でどれくらい生起するのかを観察し、その評価を記録シート【P14】に記録する。</p> <p>○指導目標の5段階評価を行う。</p> <p>授業終了後、授業者で指導目標の評価を5段階で行う。評価は授業の最初から学習チャレンジが終了するまでの10分から15分間を対象として、評価を行う。</p> <p>5段階評価の基準は次の通りである。</p> <p>5：とてもよくできた 4：よくできた 3：どちらともいえない 2：あまりよくできなかった 1：全くできなかった</p> <p>*記録の方法</p> <p>授業者2～3名それぞれが、対象児童4名について個別で5段階評価を行う。そして、評価の平均値を記録シート【P14】に記録する。例えばAくんの評価が授業者aは3、授業者bは2、授業者cは3であれば、A君のその日の評価は2.7となる。</p>	授

<p>6月中旬以降</p>	<div data-bbox="290 143 906 221" data-label="Section-Header"> <h2>7. 具体的な指導方法を決定する</h2> </div> <p>○授業改善シート【P13】を使って、次の4点について具体的な指導方法を決定し、授業改善シートに記入する。</p> <p>なお、目標決定後最初のクラブでは目標提示のみを実施する。その結果、指導の必要があると判断したら、ルール提示、行動練習、賞賛によるフィードバックの指導も実施する</p> <p>〈 授業改善シート記入事項 〉</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 目標提示＋ルールの提示＋行動練習＋賞賛によるフィードバック</li> <li>2. 学習チャレンジ</li> <li>3. 活動チャレンジ</li> <li>4. 前回の授業で評価が1から3の児童について 指導目標の評価を4から5に上げるために、話し合った改善点を配慮事項欄に書き込む。</li> </ol> <p>＊ 授業改善シートの記入例は、【P21】を参照。 ＊ 授業を改善するための改善例は【P18】を参照。</p>	<p>授，コ，支</p>
<p>5月第3木曜日</p>	<div data-bbox="290 828 946 909" data-label="Section-Header"> <h2>8. チャレンジクラブの説明を行う</h2> </div> <p>○第1回目の校内研修会でチャレンジクラブの紹介を行う。 チャレンジクラブ説明用資料【P25】を参照。</p>	<p>授，コ</p>
<p>5月から3月まで</p>	<div data-bbox="290 1039 1054 1120" data-label="Section-Header"> <h2>9. 授業終了後、記録を元に話し合いを行う</h2> </div> <p>○チャレンジクラブ終了後に、授業者同士で指導目標に関する評価を共通理解し、次回指導方法の決定を行う。必要に応じて、学級担任や特別支援教育コーディネーター、巡回相談員に参加を依頼し、アドバイスをいただく。</p> <p>○指導目標の5段階評価を行い、その記録を元に指導の効果を検討する。</p> <p>■指導の効果がみられる場合 現状の指導を継続し、指導の効果が維持されている場合は、次の指導目標に進む。</p> <p>■指導の効果が上がらない場合 授業終了後のミーティングで、指導の効果が上がらなかった原因を推定し、新しい解決策を考え、次回の授業に導入する。富岡小学校で取り入れた改善点は、チャレンジクラブ実施における改善例【P18】を参照。</p> <p>＊新しい解決策を考えられなかったり、新しい解決策を導入しても指導の効果が表れない場合は、専門機関への教育相談を行う。</p> <p>年度当初に、特別支援学校の巡回相談事業を利用し、年間を通して複数回（2回から4回）依頼しておく効果的にチャレンジクラブを進めやすい。</p> <p>特別支援学校への依頼時期と依頼内容例</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 回目：5月→指導目標の決定時にアドバイスを求める。</li> <li>2 回目：11月→指導の効果を検討する時にアドバイスを求める。</li> </ol>	<p>授，コ，支</p>

毎月第 1 水曜日	<div data-bbox="304 165 960 246" data-label="Section-Header"> <h2>10. 学級担任に記録を報告する</h2> </div> <p>○授業終了後に記入した記録シートを、学級担任に見せ、学習状況を報告する。指導目標の記録が毎回「4」以上に安定してきたら、効果があった指導方法を通常学級の担任に紹介し、通常学級でも同じような指導を実施していただく方向で話を進める。 *必要に応じて専門機関の相談員に同席を依頼し、通常学級との連携を深める。</p>	授
1 2 月下旬	<div data-bbox="277 506 1042 586" data-label="Section-Header"> <h2>11. 通常学級での実践を行う</h2> </div> <p>○通常学級で実施する場合は、チャレンジクラブと同じ教材を学級担任に提供する。また、クラブの様子を授業改善シートやビデオ等で紹介し、教材や指導方法の説明を行う。</p> <p>学級担任に配付する資料： 授業改善シート【P13】 記録シート【P14】 チャレンジクラブで使用した教材</p> <p>○学級担任の先生に週に 1 から 2 回程度行ってもらう。 学級担任は、授業終了後に指導目標について 5 段階評価を行い、記録シート【P14】に記入する。</p> <div data-bbox="277 1115 1042 1196" data-label="Section-Header"> <h2>12. 記録を元に指導の効果を報告する</h2> </div> <p>第 2 回 or 3 回校内特別支援研修会でチャレンジクラブの記録を提示し、指導効果や改善点を全職員に報告する。</p>	授  通   授、コ、通   コ、授
1 月から 2 月	<div data-bbox="290 1339 1054 1420" data-label="Section-Header"> <h2>13. 新年度入部児童を決定する</h2> </div> <p>○学級担任に次年度、特別な支援が必要な児童がいるかどうかを呼びかける。支援が必要と思われる児童については、コーディネーターを中心に放課後支援クラブ支援が適当なのかを検討する。 2 月中旬ぐらいまでに取りまとめ、クラブ支援が適当と考えられる児童は担任と話し合い、保護者との面談日時を調整する。</p> <p>チャレンジクラブ入部児童の定員 対象児童 4 名、モデル児童 4 名 計 8 名 (MAX) チャレンジクラブへの入部条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本人、保護者の了解を得る</li> <li>・授業参加が困難</li> <li>・学力が平均もしくは上位であること。</li> </ul> <p>○次年度入部予定児童の保護者と面談を行う。 保護者にチャレンジクラブの趣旨を説明する。チャレンジクラブ紹介用資料【P25】を元に説明を行い、次年度入部の意思を確認する。 保護者や担任からの聞き取りを行い、児童の基礎情報シート【P17】に記入する。</p>	授、コ、通         授、コ、通

1月から3月	<div>14. 新年度担当教員が授業を行う</div> <p>○引き継ぎのために、次年度担当教員と今年度担当教員でチャレンジクラブを行う。次年度担当教員が担当していたクラブは管理職が補教に入る。</p>	
2月のチャレンジクラブ	<p>○3年生クラブ見学の際の対応 特に児童が楽しみにしている学習チャレンジや活動チャレンジを行い、楽しいクラブを3年生にアピールする（次来年度にモデル児童の希望を増やすため）。</p>	授
3月の最後のチャレンジクラブ	<div>15. 1年の頑張りを児童が自己評価する。</div> <p>○1年間の頑張りを児童に自己評価させる。 ○自己評価用アンケート【P15】を準備し、児童にアンケートを実施する。</p>	授
3月	<div>16. 1年間の取り組みを保護者に報告する。</div> <p>○1年間の取り組みの様子や記録、児童の自己評価を保護者に個別で説明する機会を設定する。 保護者への個人懇談案内文書は【P27】参照 参加者：保護者、授業者、学級担任、特別支援教育コーディネーター ・1年間の取り組みについて記録を提示し、報告する。 ・効果的だった指導方法を紹介する。 ・次年度のチャレンジクラブへの参加の有無を確認する。対象児童、保護者の両名が同意した場合にのみ、次年度の入部を了解する。対象児童が希望しなかった場合は、入部できない。</p>	授、コ、通
3月	<div>17. 実施マニュアルを評価し、改善する。</div> <p>○チャレンジクラブ実施マニュアルについて、今年度の取り組みを評価する。 改善点があった場合は、来年度さらによりよく実施できるようマニュアルを改善する。</p> <p>☆専門機関への相談依頼先</p> <p>■徳島県立阿南養護学校      特別支援教育コーディネーター 巡回相談員 電話 0884-22-2010 〒774-0049 徳島県阿南市上大野町大山田 52</p> <p>■徳島県立総合教育センター      特別支援・相談課 電話 088-672-5200 〒779-0108 徳島県板野郡板野町大伏字東谷 1-7</p> <p>■徳島 ABA 研究会      事務局 〒779-1118 徳島県阿南市那賀川町豊香野 37 メール <a href="mailto:abakentokushima@gmail.com">abakentokushima@gmail.com</a></p>	授、コ、通 特、支、学

---